

単元名 【旧】はさみの あーと(絵)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 表したいことを表すために、はさみの使い方や切った形の並べ方を工夫することができる。
 (2) はさみで紙を切りながら生まれた形を基に、表したいことを見付けることができる。
 自分や
 友達の作品から、形のよさや面白さを感じることができる。
 (3) はさみを使って思いのままに表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080209_001

【準備等】 白い画用紙、黒い画用紙、はさみ、のり

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 はさみで自由に切った形を並べて、自分が表したいことを見付けて工夫して表す。</p> <p>○気持ちのおもむくままに、自由にはさみでどんどん切ることを楽しむ。</p> <p>○切った形を黒い画用紙の上に並べて、試しながら自分が表したいことを見つけ、思いに合う表し方を工夫する。</p> <p>○作品を見せ合いながら、自分たちの表した形のよさや面白さを感じて、話し合う。(言語活動)</p>	<p>・教科書 1・2下 P.34, 35</p> <p>・はさみの使い方や置く場所などの安全指導を行う。</p> <p>・教師が自由に紙を切る様子を見せてもよい。</p> <p>・切った紙は空き箱などに入れて、机上进行を整理しながら活動させる。</p> <p>【評】 はさみで自由に切る活動を通して、はさみの使い方を工夫する「創造的な技能」を評価する。</p> <p>・切った紙を黒い画用紙の上に並べたり、向きを変えたり動かしたりしながら表したいことを見つけさせる。</p> <p>・形の見立てよりも、自分がいいと感じる形を大切にさせる。</p> <p>【評】 作品を通して、表したいことを見付ける「発想や構想の能力」を評価する。</p> <p>・友達の作品を見て、よさを味わわせる。</p>

【 備 考 】